

平成 27 年 2 月 24 日 発行

キャリア・アップ NEWS 2 月号

《経営者・管理者が読むニュースレター》

社会人としての「常識」と「基礎力」を高める！

新人・若手社員研修

今どきの若者傾向より

1. 最近の若者は、あまり言葉や態度に表現しないので、何を考えているのか分かりづらい。
2. 何でも親や周りがやってくれるので、「やってもらうことが当たり前」となっている傾向にある。
3. だから、「何でも依存的」「すぐに答えを求めて、自分で考えて行動できない」人が多い。
- 4 「ふつう〇〇でしょ。」と言いたくなるような事でも、本人は全く分かってない。

徹底指導
先着 15 名

上司にしてみれば、「やるせない」「歯がゆい」「イライラ」した気持ちになります。

本研修の 3 つのコンセプト

1. 「人としての常識」 2. 「気配り（社内・お客様）」 3. 「コミュニケーション力」

■担当講師： 有限会社キャリア・アップ 代表取締役 須山由佳子

■日時：平成 27 年 ●3月コース 3月26日(木)、27日(金) ●4月コース 4月9日(木)10日(金)

■会場：3月(浜松アリーナ)4月(浜松市福祉交流センター) ■定員：先着 15 名 ■締切：3月20日(金)まで

■受講料(昼食代、税込)： 1人 37,800 円(2日間コースのみ)、59,400 円(6ヶ月後フォローアップ付)

今後の教育に役立つ

性格診断検査の実施
+ ご報告(参加の様子)

研修プログラム

1 日目 9:30~17:30	2 日目 9:30~17:30
1. 学生と社会人の違い 2. 何のために働くのか 3. 給料は誰からもらうのか 4. 組織における考え方 と行動とは？ 5. ビジスマナー（第一印象の大切さ） 挨拶訓練 （名刺の使い方・言葉づかい・電話応対） 6. 振り返り+3分間スピーチ （捨てるもの・身に付けておきたいもの） *今後の個別指導に役立つ性格診断を実施	1. 「自己の強み」を知り仕事に活かす! 2. 「できる!」と言われる社員とは? 指示の受け方・仕事の進め方（優先順位と中間報告の大切さ） 3. 報告・連絡・相談で即戦力となる社員になるために 4. 上司のタイプを知った上での円滑なコミュニケーションのとり方 5. これからの目標設定づくり ★3分間スピーチ（全員発表） 人前で話せる訓練

★ どちらかを選択ください（3月コース・4月コース） □2日間コースのみ・□フォローアップ含めた研修

会社名	ご住所	
TEL	Fax or メール	
ご担当者名	参加受講人数	人

※お申し込み後、詳細のやりとりをさせていただきます。

□配信停止（FAX： ）

□メール配信切り換え（メールアドレス ）

ご記入の上、弊社FAX053-411-6859まで送信をお願い致します。

無意識の中でのあなたの“言葉”はどっち??

あなたは、相手と話をしているとき、「そうだよね～」という方ですか?
それとも、「でもね、・・・しかし、・・・」と切り返しの言葉が多い方ですか?



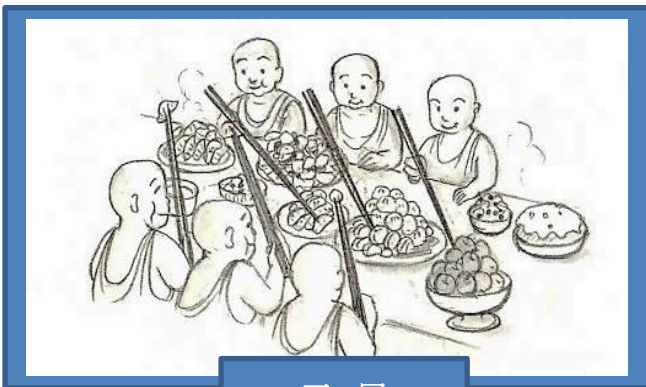
「相手の目線になって聞き、話の内容を繰り返すだけで、相談者が元気になって帰っていく」と、あるカウンセラーが話していました。

肯定言葉を多く使う人は、人の話を最後まで聞きますが、「しかし」「でもね」を使う人ほど、話の途中で言葉を挟むことが多いかもしれませんね。

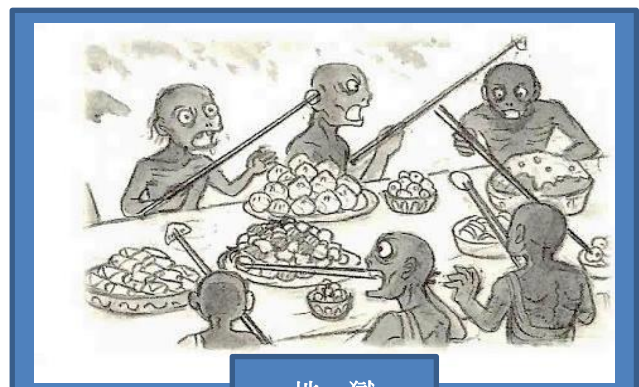
部下は部下なりに考えていることもあるはずですが、それを、最後まで話を聞かずに「でも」「しかし」と部下の話を頭から否定的に捉えてしまうと、部下のモチベーションは落ち、どうせ何をいっても受け入れてもらえないと、あきらめの境地に入ってしまう人もいます。そして、結果的には、「考えない社員」「考えようとしぬ社員」を作ってしまうかもしれません。経営者・管理者の日々の無意識の言葉も、「肯定的」な表現を意識的に使ってみることも必要ですね。

社内外でも“自利利他”の精神で

お釈迦様は、幸せになりたければ、相手を思いやりなさい。相手の幸せを思いやっけた言葉や行動は、必ず、あなた自身に思いやりとなって返ってきますよと教えられています。これを、自利利他といいます。利とは幸せという意味ですから、相手の幸せを思いやるがまま、自分が幸せになるということです。



天国



地獄

この話をご存じの方もいらっしゃるかと思いますが・・・ある男が、天国と地獄を見学したときに、地獄(右の絵)では、目の前の御馳走を、1メートルもある長い箸で食べようとしているのですが、なかなか自分の口に入れられないのです。なかなか、目の前の御馳走が食べられないのでやせ細っていくし、相手が食べようとしているのを邪魔して、自分だけが食べようとしていて、争い事が絶えないのです。一方、天国(左の絵)は、1メートルもの長い箸で目の前の御馳走をとり、相手に食べさせてあげようとする姿があるのです。天国にいる人々は、皆笑顔で楽しく食事をしているのでした。(ブッタの教えを学ぼう より)

「自分が・・・自分が・・・」と自分本位では、人が離れ協力も得られません。しかし、自分のことより、まず相手を「思いやる」「気遣う気持ち」があると、結果的に相手もこちらを気にしてくれます。まずは、経営者として、上司として、「利他」の気持ちを忘れずに経営に励みたいものです。 須山より

□配信停止 (FAX :)

□メール配信切り換え (メールアドレス)

ご記入の上、弊社FAX053-411-6859まで送信をお願い致します。